

令和元年台風 15 号・19 号
千葉県・福島県豪雨被害 復旧活動報告

南房総市大房岬自然の家、千葉県立大房岬自然公園
千葉県立君津亀山少年自然の家
古民家ろくすけ
千葉県南房総市富浦町多々良地区
千葉県南房総市富浦町枇杷山 等



NPO 法人 千葉自然学校
2019 年 11 月 15 日

【支援ボランティア】について

ボランティア人数 延べ730名 (2019.11.15.現在)

台風15号が千葉市上陸(2019/09/9)の翌日に千葉自然学校では、現地(千葉県南房総市、君津市)と連絡を取りながら久保田理事長を中心に災害本部を立ち上げました。

3日目(2019/09/11) 館山道富浦I.C.まで開通したことで小松事務局長が、現地におもむき南房総市大房岬自然の家被害状況を把握すると共に現地の要望等を集約しました。

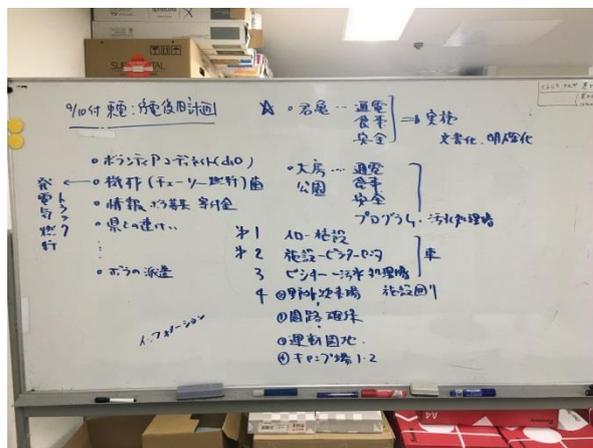
また、南房総市内にある古民家「ろくすけ」、君津市笹地区にある千葉県立君津亀山少年自然の家被害状況も合わせて把握することができました。

4日目(2019/09/12) 久保田理事長、飯田副会長、小松事務局長の3名で千葉県庁自然保護課(大房岬自然公園所轄)へ被害状況の報告と今後の動向等の相談に伺いました。

5日目(2019/09/13) 千葉自然学校のホームページ、フェイスブック等のSNSで千葉自然学校に繋がりのある方を対象に支援ボランティア、支援物資、支援金の募集を掲載しました。

6日目(2019/09/14) 支援ボランティアの受入をスタートしました。

南房総市大房岬自然の家、千葉県立大房岬自然公園スタッフが中心となり、ボランティアの受付、作業内容、安全管理、宿泊体制を整えました。



2019年9月11日(水)
大房岬に通じる道路。電柱が倒れて中型車以上の通行が不能。

9月11日（水）被害状況
南房総市大房岬自然の家



南房総市大房岬自然の家 宿泊棟裏の倒木。



南房総市大房岬自然の家 体育館裏の倒木。



南房総市大房岬自然の家 野外炊事場の倒木。野外テーブル、かまど、炊事場。



千葉県立大房岬自然公園



千葉県立大房岬自然公園 園路付近の倒木。



海岸園地へ通じる園路の倒木。

9月14日（土）～11月15日（金）までの支援活動の様子
訪れる子どもたちの笑顔が早く見たいから頑張れる！



早い段階から高所車両を持ち込んで、園路のかがり木作業をやって頂きました。



ボランティアは、幼児からシニア、老若男女とさまざま。その人に合った作業を心掛けました。



チェーンソー部隊。道具を自ら持込んで、普段から道具に慣れている方に作業してもらいました。



特殊車両大型重機のコンボで大木を動かしてもらいました。



南房総市富浦町地区、枇杷山支援活動の様子
地域住民からの要望でガレキの撤去、運搬作業。



枇杷山の倒木撤去作業。2019年10月8日（火）から実施。



RQ災害教育センターと連携してRQ千葉を立ち上げる。

一般社団法人 RQ 災害教育センターは、東日本大震災の被災地支援のために結成されたボランティア組織「RQ 市民災害救援センター」から発展して誕生した組織で、2011年12月7日に設立されました。<https://rq-center.jp/aboutus>

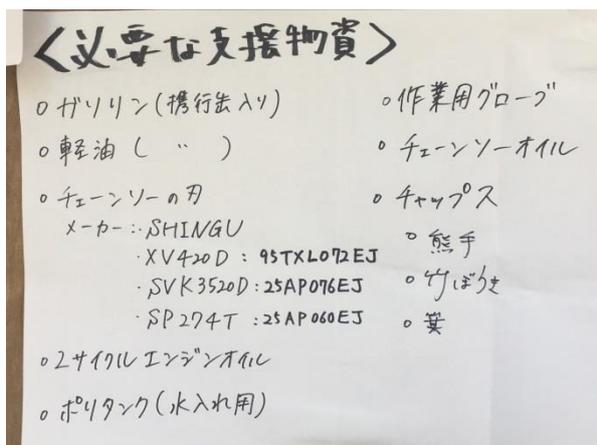
RQ千葉は、台風15号で被災した南房総市にて、NPO法人千葉自然学校、南房総市大房岬自然の家(指定管理者 NPO法人千葉自然学校)と連携して活動しています。子どもたちの生きる力を育む豊かな自然体験活動の場の復活と地域の特産物である房州びわの枇杷山の農業支援を始めました。
RQ現地代表:神保清司(南房総市大房岬自然の家所長)

【支援物資】について

南房総市大房岬自然の家をフィールドとする倒木作業、園路掃き掃除、屋根の補修、ボランティアの飲食料などに活用させて頂きました。

また、被災当初は地域住民の皆様へ区長さんを通じて、ブルーシート、ロープ、飲料水などの必要な支援物資を配布させて頂きました。

養生テープ、ブルーシート各種、スーパーマルチバスケット、自立式マルチバスケット、PPロープ、トラロープ、綿ロープ、皮手袋、ゴム手袋、軍手、LEDランタン、乾電池各種、土嚢袋、チェーンソー替刃各種、チャップス、チェーンソーオイル、混合ガソリン、2サイクルオイル、草刈り機替刃、靴中敷き、踏み抜き防止中敷き、剪定ばさみ、手持ちノコギリ各種、竹ぼうき、大熊手、熊手、テミ大小、折りたたみリヤカー、発電機、農業用高所車両、軽トラックリース、ポリタンク、使い捨てマスク、ゴミ袋、飲料水、米、果物、菓子など。



2019年9月14日(日)支援物資の内容も被害状況によって日々変化していきました。



2019年9月20日(金)かがり木の撤去に農業用高所車両を持って来てくれました。



2019年9月14日(日)台風15号後、坂道の電柱はまだ倒れたままでしたが、初荷が大房岬に届きました。



2019年9月20日(金)千葉市内から大房岬自然の家へ直接支援物資(飲料水)を届けて頂きました。

【活動支援金】について

南房総市大房岬自然の家のフィールド内の倒木処理、枝などの除去、運搬、地域住民の要望など長期的な支援活動を実施して来ました。

お寄せいただきましたご厚意は、台風15号、19号、千葉・福島大雨災害の復旧、復興作業に必要な軽トラックの購入やチェーンソー替刃、消耗品、燃料、軽度の作業備品、ボランティアの皆様の飲食料などの購入に広く活用させていただきました。

<軽トラックAT&4WD>

スタッフの誰もが運転でき、公園内や枇杷山といった狭い道や山道もラクに登れるようにAT&4WDにしました。

また、運転公園内や枇杷山といった狭い道や山道もガンガン登れるように4WDにしました。機材や倒木、枝、枯葉、ガレキの運搬に活躍しています。



<チェーンソー、その他付属品>

倒木やかかり木の撤去作業に欠かせなかったチェーンソー。

通常以上の使用頻度に替刃やオイルの需要も頻繁です。

<枯れ枝、枯葉の掃除道具>

倒木やかかり木をさらに短く、細かくのこぎりで切り揃えて、子どもたちが野外炊飯で使用する薪づくり。

子どもたちが公園内を所狭しと走れるように枯れ枝や枯葉を集めます。



南房総市にお越し頂いた皆様（人物、日付けなど順不同）
 ボランティア人数 延べ730名（2019.11.15.現在）



ボランティア延べ人数

9月	459名
10月	210名
11月	61名
合計	730名

(2019. 11. 15. 現在)



ビフォー

アフター



2019年9月9日(月) / 2019年9月30日(月)
千葉県立大房岬自然公園 園路